

研修報告

『グローバル研修 保証人問題委員会 企画研修』

◇研修日：2022年7月23日（土）14：00～16：00

◇方 法：オンライン

◇テーマ：身寄りのない方の金銭管理に困っていませんか？

～その対応の留意点・実践から学ぶ～

- ① 保証人問題委員会からのアンケート報告
講師：中京病院 大寺 直子
- ② 患者の金銭管理を行う際の法的根拠と留意点について
講師：熊田法律事務所 弁護士 熊田均先生
- ③ 金銭管理の実際と課題
講師：真栄病院 MSW 不動宏平先生

◇受講人数：150名（会員：94名 非会員：56名）

◆アンケートコメント紹介◆

- ・ アンケート結果から医療ソーシャルワーカーの金銭管理業務に関する実態が分かったのが良かった。また、熊田先生が法律専門家の視点から病院における金銭管理業務のリスクとその対応について解説していただいたことは、この問題について理解を深めることにつながったように思う。不動先生による報告は非常に具体的で実践例が大変参考になった。
- ・ 熊田先生からは、金銭管理の契約行為の種類や法律上の位置付けを知ることが出来て、大変参考になりました。また、不動先生からは、非常に身につまされる生のお話を聞くことが出来て、実際の業務上、勇気づけられるお話でした。ありがとうございました。
- ・ 救急搬送され、意識もはっきりしないなかで成年後見人利用の判断能力を有しているかもわからず経過してしまい、どのように対応したらよいか迷うことがありました。今回の研修で、病院だけではなく地域も巻き込んでシステムづくりを構築していくことが重要であると学びました。ありがとうございました。

グローバル研修 保証人問題委員会企画研修を終えて

研修担当 大寺 直子

本研修は、身寄りのない方の金銭管理を行う場合の法的根拠やその留意点について学ぶこと、具体的な実践方法や課題を共有することを目的に企画しました。オンライン研修により、愛知県医療ソーシャルワーカー協会の会員だけでなく、非会員の方にも多くの申し込みを頂き、地域を超えて、幅広い受講者と共通の課題を共有できたと思います。

事前のアンケート調査では、特に一般床を持つ医療機関では身寄りのない人が入院をした際にやむを得ず金銭管理をせざるを得ない場面がどうしても出てくる実態があり、MSW達は悩みながらもその人たちの権利擁護のために模索している姿が見えてきました。一方で専門職の研修で金銭管理という部分だけの研修は、それがMSWの仕事であるとの誤解を招くというご指摘、テクニク的な方法論ではない研修が望ましいとのこと意見もいただきました。

研修ではMSWがつけつけられている金銭管理の課題を正面から受け止めつつ、本人の最善の利益のために何が出来るのか、広い権利擁護の視点も含めて講師の先生にお話しして頂けました。また、医療機関のみでなく地域の課題としてどのようなネットワークを構築していけるのか、次なる課題を共有して終わることが出来ました。有意義な研修となりましたことを改めて講師、企画担当、参加者の皆様に感謝申し上げます。